

# 教育だより

平成22年度三芳町教育委員会

## 研究委嘱校研究報告

### 『豊かな知性と感性を育む三芳教育』

教育委員会では、毎年、学校・グループ・個人に係る研究を委嘱し、学校教育の充実に努めています。各学校では、さまざまな角度からよりよい授業を目指し、指導の工夫・改善に取り組んでいます。今月号では、研究委嘱校5校より各学校での研究状況等について報告します。

問い合わせ 学校教育課(内線521・522)

### グループ・個人研究報告

#### 《グループ研究》

- ◆藤久保小学校【算数科】視覚覚機器を活用した算数科指導法の研究
- ◆三芳中学校【社会科】歴史的分野を中心に、授業に生かす地域資料の教材化
- ◆三芳東中学校・藤久保中学校【国語科】「話すこと・聞くこと」の実践～課題にそって設定時間に合わせて話すことの大切さ～
- 《個人研究》
- ◆藤久保小学校【社会科】地域素材を生かした社会科歴史学習の研究
- ◆三芳東中学校【技術家庭科】「関心・意欲・態度」を育てるガイダンス授業の研究
- ◆三芳東中学校【社会科】ICTを活用した社会科の授業の展開

## 三芳中学校



本校では、三芳町教育委員会の学校研究委嘱を受け「地域に根ざした総合的な学習の時間の実践」を主題として取り組んでいます。

具体的な取り組みとして、前年度の主題である「郷土三芳町を愛する生徒の育成」を踏まえ、地域を知り、地域の方との交流を実践するため、総合的な学習の時間を活用し、生徒たちが地域へ出て体験学習を行っています。全生徒が地域の方々と触れ合いを大切にする姿勢を持つよう、生徒たちが地域へ出て体験学習を行っています。生徒たちはこの取り組みを通じ、指導者・ボランティア・施設や事業所等の多くの人と接する中で、自分がいかに多くの人に愛されているかを体感し、三芳町をより深く知り、本校の目指す生徒像である「格好い中学生」へと成長しています。

## 藤久保小学校



本校では、平成21年度入間地区国語教育研究会、平成20・21・22年度三芳町教育委員会の委嘱を受け「豊かな読み力を育てる国語科の指導」の研究に取り組みできました。「豊かな読み力」については、「基礎基本をおさえ、学習内容を明確にし、的確な指導・支援をして豊かな読み力を育てる」との共通理解に基づき、授業を実践してきました。その上で、授業作りの3つの視点を①読み取る内容②読み取り方③表現・叙述の確認と定め、1時間の授業の中に読むこと、話すこと、書くことをバランスよく取り入れ、書く時間を十分に取り、言語活動の充実を図りました。その結果、児童は、自分の考えを叙述に即して読み取ることが出来るようになり、しつかり発表出来るようになりました。また、教師は児童の学ぶ内容をしっかりとおさえ、発問や指示を明確にした授業のシナリオを作成して授業を展開した結果、指導力の向上が図れました。

今後とも、本研究を進めていき学校教育目標「やさしく、かしく、つよい子」の具現化に努めていきます。

## 三芳小学校



生活において、伝え合う活動に力点を置き、互いの立場や考えを尊重し、言語をとおして円滑な人間関係を築く力を育てたいと考え、研究を進めてきました。

このことは、新学習指導要領で示されている「言語に関する能力を高めていく」ことにつながっています。「伝え合う力」を重視した教育課程を編成し、指導の中で「話すこと・聞くこと」の実践的な表現活動を積極的に取り入れていきます。自分の考えを深めたり表現したり、相手の考えを理解したりしながら「伝え合」喜びが味わえる児童を育てたいと願い、授業の中に、意欲的に互いが関わる場を組み入れることで、基礎・基本を身につけ、他者との関わりの中から自らを高めていくという、「まなび合いの教育」を推進しています。

本校では、平成21・22年度、三芳町教育委員会の委嘱を受け、国語の研究を推進してきました。

研究主題「まなび合いの教育を推進する教育課程の研究」副題「伝え合う力の育成を目指して」を掲げ、子どもたちが学校の

## 唐沢小学校



本校は「伝え・学び・深め合う児童の姿」をめざして、学校研究に取り組んできました。国語科の指導では、確かな読み力を育てるために、わかる授業を工夫しました。まず、「授業規律・学習の約束」を学校全体で徹底し、「すらすら音読する力」「課題に沿って読みを深めていく力」を育成して、

- ①一人読み
- ②グループ内で伝え合う
- ③よりよいものを学びとる
- ④クラス全体で発表し合い深める

という学習形態で全学級が授業に取り組みました。その結果、教師の指導力が向上するとともに、児童の課題に沿って読みを深めていく力が身に付いてきました。また、「授業規律・学習の約束」の徹底により、「聞くこと・話すこと」の力が身に付き、「聞くことが楽しい・話すことが楽しい」と感じる児童が増えました。それとともに、「わかる・楽しい・次もがんばろう」という学習意欲が向上しました。



## 竹間沢小学校



本校では、昨年度より「ふるさとを愛しふるさとで学ぶ、健康でたくましく竹間沢小学校児童の育成」を研究テーマに掲げて学校研究を進めてきました。来年度から全面实施される新学習指導要領の趣旨を踏まえ、子どもたちの「生きる力」を育成するために、教育計画を見直し、授業の効率化に取り組んでいます。本校は以前から「よりよい人間関係作」の研究を重ねてきました。この研究が現在実を結び、子どもたちは教室で自分の意見を言ったり、友だちの考えに共感できたりする優しい気持ちが育っています。

この研究を基礎として、日課表や行事の見直しを行い、教師と子どもたちがふれ合う時間を増やしました。来年度からは授業の時間も増加し、授業の展開のしかたにも工夫が必要となつてきます。本校では授業研究会を通して、子どもたち一人ひとりを大切にしたいよう、授業づくりの研修を重ね、「生きる力」の育成のために研究を続けていきます。

**図書館だより**

中央図書館 ☎258-6464  
火～金 10:00～19:00 土日 10:00～18:00  
竹間沢分館 ☎274-1722  
火～日 11:00～18:00



**3月の予定**

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

**<中央図書館>**

**ぐりぐりタイム** (絵本・紙芝居・手遊び・本の紹介)  
第1・3金曜日 (保護者同伴) 当日参加  
11:00～11:15 6ヶ月～1歳  
11:20～11:40 2・3歳～ (保護者同伴)  
第2・4火曜日 16:00～16:30 3～8歳

**としよかん・くらぶ**  
(講師の読み聞かせと司書のブックトーク)  
10:20～12:00 1～6年生  
※3月は合同終了です。

**おはなしはじめのいっば**  
～覚えてみたい楽しいお話がいっぱい～ (小さいお話 (語り)、手遊び、わらべうた) →当日参加  
11:00～11:30 語りに興味のある方、聞か  
けの方、どなたでも (赤ちゃん連れOK)

**<竹間沢分館>** (絵本・紙芝居・手遊び等)  
11:00～11:30 6か月～3歳  
※保護者同伴

**◆スイミーおはなし会 (第2水曜日)**  
16:00～16:30 4歳～小学生

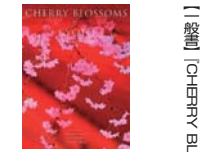
**[地域支庫のお知らせ]**  
(児童書の貸出、お話を会など。)  
**つくし支庫**…3月19日(土)、10:00～12:00  
場所/上富1区第1集会所にて  
**あらた支庫**…毎火曜日 15:30～18:00  
場所/荒田自宅にて  
(藤久保536-4 三芳東中学校近く)



**【児童書】 「かぐくむとねね」**  
長谷川摂子文 矢間芳子絵・構成  
福音館書店 二〇一〇年二月初版発行  
請求記号 児童E131  
わたしはさくらの木。春には花を咲かせ、花が散った後には、葉っぱの赤やんがでてきます…。一本の桜の木が自分の一年のドラマを語る。美しい細密画と耳に優しい文章が心に響く。



**【一般書】 「日本の桜」** (講談現代新書)  
筒井かほる著  
講談社 二〇一〇年三月初版発行  
請求記号 一般S479  
平安・鎌倉時代に西行が詠んだ桜の歌は約二百首。日本人にとって桜はただの花木ではない。その桜を育て手入れる「桜守」、伝説の一本桜、名桜地など、桜列島をくまなく解説紹介。



**【一般書】 「CHERRY BLOSSOMS」**  
水野秀比呂他撮影  
講談社インターナショナル  
請求記号 一般Y748  
外国からのお客様に桜を紹介したいときにはこの本を。京都御苑、高瀬川、平野神社、北野天満宮など、京都の48の桜の名所を美しい写真で紹介し、巻末に日英2カ国語地図が付く。



**【一般書】 「日本の桜の名所100選」** (美)  
主婦の友社 二〇一〇年三月初版発行  
請求記号 一般Z91ニホ  
北海道から九州・沖縄まで、「期間限定人目大さくらの会」が選定した桜の名所100選を写真とともに紹介する。品種名・桜の見頃・アクセス・問い合わせ先などのデータも掲載され便利。

**図書館の本棚より 「桜」の本 別冊紹介中**

**健康スポーツライフ**

このコーナーでは「スポーツと健康」をテーマに、様々な役立つ情報をみなさんにお届けします。  
問い合わせ 総合体育館 ☎258-0311

冬も終わりに近づき、暖かい春がすぐそこまで来ています。3号続けての「冬太りの解消法」、最後は入浴法についてです。冬太りの原因の一つとして、女性の2人に1人は悩んでいると言われる「冷え性」。体の冷えはむくみから始まっています。毎日シャワーで済ませるのではなく、ちゃんとお風呂に浸かって汗をかき体内にたまっていた余分な水分や老廃物を排泄することで、むくみの解消、冷え対策につながってきます。

- 1日1回ゆっくりリラックスできる自分だけのお風呂の時間を楽しんでもらうために、4つのポイントを紹介いたします。
  - ①お風呂の前にコップ1杯の水を飲む…より汗をかきやすく、余分な水分や老廃物を押し出すことができます。
  - ②38～40℃くらいのぬるめの温度に設定する…あまり高い温度だと、心臓に負担をかけたりのぼせたりすることがあるため、ぬるめのお風呂の方が、リラックス効果があります。
  - ③20分以上つかると、体温が下がらない時などは無理をしないようにしてください。
  - ④お風呂の後の水分補給を忘れずに…20分以上入浴すると、自分が思っている以上に汗をかいています。しっかり水分補給してあげましょう。
- ちなみに、個人差はありますが、30分の入浴で約90kcalを消費します。入浴することによって免疫力も高まると言われています。花粉症対策にもつながり、春が待ち遠しいですね。



**4月より子供向けのプログラムが充実します!**

クラス	フットサル教室	J-POP体操・J-MIXダンス	親子ピクス
内容	年齢に応じたサッカー・フットサルの技術を習得し、かつ基礎体力、協調性を身につけます。	音楽に合わせて体を動かし、リズム感、表現力を養い、かつ基礎体力、協調性を身につけます。	乳幼児が初めて運動に触れる機会として、親子で一緒に身体を動かします。
日程	4/6, 13, 20, 27 5/4, 11, 18, 25 6/1, 8, 22, 29 (15日はお休み) 毎週水曜日 (月4回)	<b>NEW!</b> 無料体験会 (予約不要) : 3/15, 22 4/5, 12, 19, 26・5/10, 17, 24, 31 6/7, 14, 21, 28 (5/3はお休み) 毎週火曜日 (3ヶ月12回)	4/12, 19, 26 (5日はお休み) 5/3, 10, 17, 24, 31 6/7, 14, 21, 28 毎週水曜日 (3ヶ月12回)
時間	16:00～17:00 U-8クラス (幼稚園児～8才) 17:10～18:10 U-10クラス (10才以下) 18:20～19:20 U-12クラス (12才以下)	16:00～16:50 J-POP体操 (3～7才) 17:00～17:50 J-MIXダンス (6～12才)	<b>NEW!</b> 10:00～11:00 ひよこクラス (1～2才) 11:00～12:00 こっこクラス (2～4才)
場所	アリーナ	武道場	武道場
料金	1ヶ月3,800円	3ヶ月7,500円	3ヶ月6,000円
受付開始	3月15日(火)10:00より	3月23日(水)10:00より	3月22日(火)10:00より

・総合体育館に直接来館、もしくは電話 (☎258-0311) にてお申し込みください。  
・それぞれ定員までの先着順となります。  
・親子ピクスは継続申込の方が優先となります。

**技の文化財**  
第十一回 屋号

「屋根屋」「大工」「竹籠屋」…これまでの「技の文化財」では、専業主婦としての職人仕事、農閑期に行う賃稼ぎの仕事に携わった人々とその様子を詳しく紹介してきました。連載にあたり、その技術を今に伝えてきた方々を中心に話を伺ってまいりました。数代前に辞めてしまった仕事についても三芳の歴史を知る情報として聞き取りを行う事があります。そうした仕事が行われるようなもので、ご家庭で手掛かりとなるのが「屋号」です。屋号は家名とも言われ、その家の状態や初代の名前、出身地などをとらえたものが多く、村における個々の家の通称といえます。その中には、すでにその職業を辞めていくにもかかわらず、現在もなお、その当時の呼び名が通称として残っている場合があります。例えば「酒屋」「アヌ屋」「豆腐屋」などです。これは、商売としていたものがそのまま屋号となったもので、その当時を知る人は、「豆腐のおからをよくもろいに行つて食べたんだよ」と懐かしそうに話してくれました。

また「藍屋」「紺屋」「機屋」など、その当時の主要な産業を示す屋号もあります。江戸時代の終りから明治時代まで、三芳は藍染めで使われる藍の一大生産地でした。藍屋は、農家が乾燥した藍の葉を買取り、これを藍の中に入れて水を加えながら発酵させ、発酵した藍を白でつきながら丸め、藍玉を生産していました。そして紺屋は、その藍玉を原料として行う染物屋のことです。藍玉を染料に加工しなければならず、時間と技術を必要としました。機織りが高くなり、糸染めは冬場が特に忙しかったと言います。

機織りは、明治から大正期にかけての女性の仕事の一つでした。明治時代初期の北水井村や藤久保村の様子について書かれた資料によると、「女は耕織養蚕を専らとす」とあり、農業の傍ら機織りが行われていたことが示されています。所沢の地場産業だった「所沢紺」や平織の絹物、白無地などの反物が主に織られていました。それぞれの家で手内職として織らせる機屋があり、機屋は織機を二十から二十五台置いて、近所はあらゆる機織り娘を雇い、忙しみにてはガス灯を灯して夜遅くまで織ったと言います。

地名などの整理がなされ、昔ながらの字名が消えてしまうことが多々ある中、屋号はその家の事情を示すだけでなく、当時の様子を伝えてくれる重要な情報といえるでしょう。(終)

**教育トピックス**

三芳町立小中学校に通う子どもたちにとって、一年のまとめをする月であると同時に、新しい世界へと一歩踏み出すための大切な節目の月でもあります。子どもたちが、そのことを強く実感するのが、「卒業証書授与式」です。

「6年生を送る会」は、この時期に町内各小学校で開かれています。今回は、竹間沢小学校の様子をお伝えします。

1年生から5年生が待ち受ける体育館に6年生が入場します。入場時の伴奏を聴いて6年生は、ハツとします。その伴奏は、6年生が奏でる入場時の伴奏曲は、6年生にとって想い出の曲、運動会等で披露した鼓笛隊の曲だからです。5年生が、この日のために猛特訓して、6年生への感謝の気持ちを込めて演奏しているのです。少しはにかんだような表情を浮かべて、6年生が着席しました。さあ、いよいよ「6年生を送る会」の開幕です。

かわいいう在校生からの出し物が続きます。

6年間の成長をすべし立ってして発表する学年。6年生への感謝の気持ちをみんな朗読する学年。竹間沢小学校では、音読の指導に力を入れています。そこで身につけた方が、このような場面でも、発揮されています。

「そうそう、そんなことがあったっけなあ。」  
「1年生はかわいいなあ。自分もあんなときがあったのかなあ。」  
6年間の小学校生活を思い出し、感慨にふけっていることが表情からもわかります。

恒例となっている4年生の出し物。竹間沢小学校で、毎年4年生が運動会披露している「ロケット・ソール」の演技です。激しいリズムに乗って、大きく体を動かすこの踊りは、6年生にとって自然大好きで想い出深い踊りです。自然大好きな6年生の身体も音楽に合わせて動き出しています。

そして、在校生から6年生に「寄せ書き」が贈られます。そこには1年間、縦割り班1年生から6年生までの子どもで構成する異年齢集団で一緒に活動した下級生からの、感謝の気持ちが綴られています。

「こんなでいじりとき、ほんんんんつれて、つれて、つれてあげよう。」  
「わたしたちも、みなさんのような6年生になります。」  
「中学校へ行って、がんばって楽しかった。」  
「6年生を送る会」も、終了の時が来ました。寄せ書きを手に退場する6年生の表情からは、次の世界へ歩みだす決意のようなものが感じられます。

在校生から「感謝」という名の勇気もらい、次の世界へ進んでいく卒業生。心のパトロンをすす場所が、「卒業証書を送る会」であり「卒業式 (卒業証書授与式)」なのかもしれません。